

# 大 学 生 の 読 書 を

# 考 え る

生協総合研究所は『生活協同組合研究』2018年5月号で大学生の読書問題を取り上げ、「学生時代に本を読む機会や習慣を失ったまま社会に出ていくとどうなるのだろうか?」「大学生の読書問題を、日本の社会問題・教育問題として深く考えてみる必要があるのではないだろうか?」と問題提起しました。2018年11月には公開研究会を開催し、大学関係者、学術・専門出版関係者、学生など多数の参加を得て、「大学生の読書」問題、さらには「知」の状況について、研究と実践報告をもとに議論しました。

今回の公開研究会では、大学生の読書をめぐって、学生の学びと成長との関係、大学の教育の関わり、「知」や学術出版の状況、さらには大学生協の役割について、議論を深めていくことを目的とします。



日時・場所

2019年10月12日(土) 13:30~16:45  
ウインクあいち(愛知県産業労働センター)1301会議室

参加費

生協総合研究所会員：無料 / 一般：1000円  
(団体会員の役職員を含む)

<プログラム>

- 13:30~13:40 開会挨拶 小熊竹彦(生協総合研究所 事務局長)
- 13:40~14:55 講演 横田冬彦氏(京都大学名誉教授)  
「江戸時代の読者 一本を読むとはどういうことか」
- 14:55~15:05 休憩
- 15:05~15:50 研究報告(大学生の読書を考える研究会 委員)
  - ① 鈴木哲也氏(京都大学学術出版会専務理事)
  - ② 牧 恵子氏(愛知教育大学非常勤講師)
  - ③ 岡田憲明氏(全国大学生協連専務理事スタッフ)
- 15:50~16:40 参加者からの実践報告および討論
- 16:40~16:45 閉会挨拶



## ■講演者・報告者のプロフィール

### 横田 冬彦 氏

- ・京都大学博士（文学）。神戸大学、京都橘大学、京都大学を経て、現在京都大学名誉教授、同志社大学嘱託講師。専門：日本近世史。
- ・著書：『日本の歴史 16 天下泰平』（講談社、2002年／講談社学術文庫、2009年）、『身分的周縁と近世社会 5 知識と学問をになう人びと』（編著、吉川弘文館、2007年）、『異文化交流史の再検討』（編著、平凡社、2011年）、『本の文化史 1 読書と読者』『同 4 出版と流通』（編著、平凡社、2015・17年）など。

### 鈴木 哲也 氏

- ・京都大学文学部および教育学部に学ぶ。出版社勤務を経て2006年より現職。大学出版部協会理事、日本書籍出版協会評議員。
- ・著書：『学術書を書く』（共著、京都大学学術出版会、2015年）、『世界大学ランキングと知の序列化』（分担執筆、京都大学学術出版会、2015年）、『京都の「戦争遺跡」をめぐる』（共著、つむぎ出版、1991／1996年）など。

### 牧 恵子 氏

- ・愛知教育大学大学院教育学研究科修士課程修了。2011年4月より2014年3月まで、文科省「就業力育成のためのGP」の一環で、愛知東邦大学・学修支援センター（特任教授）にて、初年次教育日本語科目担当。現在、愛知教育大学非常勤講師。
- ・著書：『学生のための学び入門—ヒト・テキストとの対話からはじめよう—』（ナカニシヤ出版、2014年）

### 岡田 憲明 氏

- ・大阪大学生協同組合書籍部にて勤務。その後、2014年に専務理事に就任。2016年に全国大学生協同組合連合会に移籍し、事業連合を担当する連帯推進部にて勤務。

## ● 会場地図



ウイंकあいち：愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

JR 名古屋駅

- ◎桜通口からミッドランドスクエア方面  
徒歩5分  
(ユニモール地下街5番出口徒歩2分)

## ● お申込み

下記 URL（または QR コード）の参加申込フォームよりご登録ください。

<https://business.form-mailer.jp/fms/36cefb52108985>



## ● お問合せ

生協総合研究所(中村範子・豊嶋里泉)

TEL : 03-5216-6025 FAX : 03-5216-6030 メール : ccij@jccu.coop